

ArtemiS SUITE  
Signal Processing

Code 51304

# ASP 304 バッチ RPM ジェネレーター

ArtemiS SUITEのバッチRPMジェネレーターは、RPMジェネレーターのテンプレート（APR 080が必要）に基づいて、類似した大量の録音データからバッチモードで参照量を生成することができます。さらに、バッチ処理モードでのRPM生成を、自動化プロジェクトに統合することができます（APR 050が必要）。

# 概要

## ASP 304

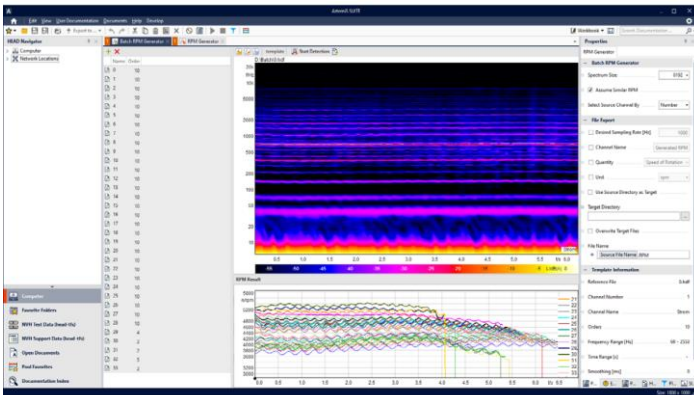
## バッチ RPM ジェネレーター

### Code 51304

RPMジェネレーターのテンプレートを利用することで、バッチRPMジェネレーターは複数の類似録音データの参照量を同時生成できます。さらに、バッチRPMジェネレーターを自動化プロジェクトに組み込むことができます。

バッチRPMジェネレーターは、ボタンタッチひとつで、大量の類似録音データに同時に適用し、RPM曲線を生成できます。このアルゴリズムは、異なる長さの録音データから正しい回転速度を検出し、手作業による調整の必要性を最小限に抑えます。

自動化プロジェクトに組み込むことで、バッチRPM生成プロセスをユーザーの操作なしで実行でき、自動的に処理タスクに利用できます。



## フィーチャー

RPMジェネレーターテンプレートによる大量の類似録音データの参照量の簡単生成

長さの異なる録音データから正しい回転速度の検出でき、手作業による調整を最小限に抑えることができます。

各チャンネルのすべての結果を FFT vs 時間ダイアグラムに表示し管理をし易くします。

各チャンネルに割り当てられた次数を一覧表示

周波数から変換された回転速度の同定結果を RPM vs 時間ダイアグラムに表示

RPMジェネレーターテンプレートを、通常の処理ステップとして自動化プロジェクトに埋め込むことができます。バッチモードで大量の類似ファイルを含むフォルダ全体に適用できます。

## アプリケーション

バッチモードで重要な次数曲線からRPM曲線を直感的に生成:

- > 一連の録音データの評価
- > 生産工程アプリケーション
- > テストベンチ録音
- > ...

# 詳細

## バッチ RPM ジェネレーター

バッチRPMジェネレーターを利用すると、類似の録音データやすべての録音データをワンステップで処理することができます。

操作は簡単です。ユーザーは参照録音データを選択し、RPMジェネレーターによりRPM曲線を生成し、その結果をさらなる録音データの為のテンプレートとして利用します。RPM検出アルゴリズムはそのテンプレートとそこに含まれるパラメータを利用し、バッチモードで任意の数の録音データに適用します。

テンプレートは常に保存、編集、利用ができます。

複数の結果を組み合わせる為に、複数選択がサポートされています。例えば、次数の数の修正等のマニュアル調整も後で行うことができます。

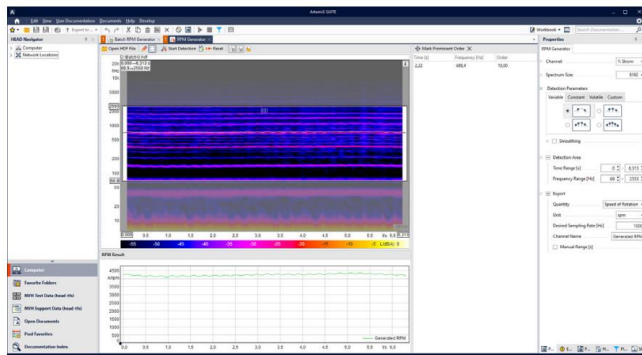
## 自動化プロジェクトに組み込まれたバッチRPMジェネレーター

自動化プロジェクト（APR 050が必要）は、バッチ処理モードでのRPM生成を自動化プロセスに統合する為の完璧なソリューションです。

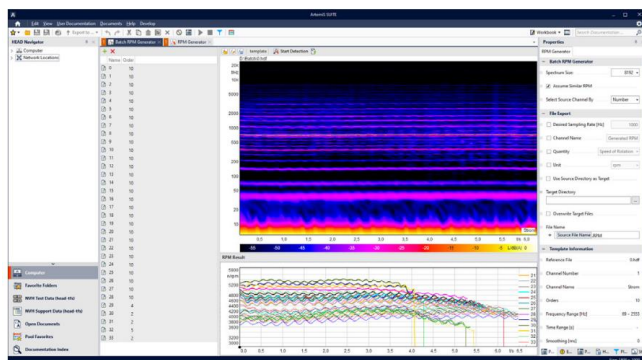
自動化プロジェクトでは、選択、カット、フィルタリング、解析、単一値計算、インポート、エクスポート等の様々な機能をユーザーの操作なしに実行できます。結果の自動出力をファイル、データビューワー、またはレポート（APR 020が必要）の形式で行うことができます。

バッチRPMジェネレーターを自動化プロジェクトに統合するには、ユーザーはAPR 080で作成されたテンプレートをバッチRPMジェネレーター要素として、処理シーケンスに挿入するだけです。

バッチRPM生成を伴う自動化プロジェクトは、HEADナビゲーターを介して、類似ファイルが大量にあるフォルダー全体にも適用できます。



RPMジェネレーターで作成したテンプレートは、



バッチRPMジェネレーターでデータセット全体に適用できます。

## 要件

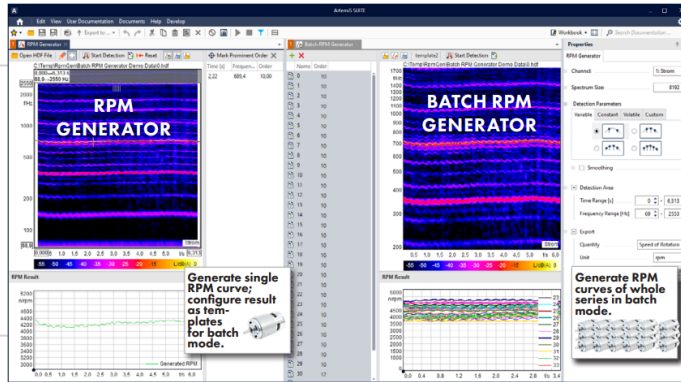
- RPMジェネレーターで作成されたテンプレートとバッチプロセス用のファイルには以下が含まれている必要があります：
  - 同じチャンネル名または番号
  - 類似の顕著な次数
- テンプレートはRPMジェネレーターで手修正なしに合理的な結果を出している必要があります
- RPM生成は一貫性のある領域でのみ可能です
- テンプレート内では、次数曲線はそれぞれ一点のみで明確にマークされている必要があります。

# バッチRPMジェネレーター（ASP 304）及びRPMジェネレーター（APR 080）

RPMジェネレーター（APR 080が必要）は、一度に1つの録音データのRPM曲線を生成しますが、バッチRPMジェネレーターは、同時に大量の録音データに適用できます。さらに、バッチRPMジェネレーターは、自動化プロジェクト（ARP 050が必要）を利用して、録音、解析、処理タスクにバッチRPM生成タスクを組み込むことでユーザー操作をなくすことができます。

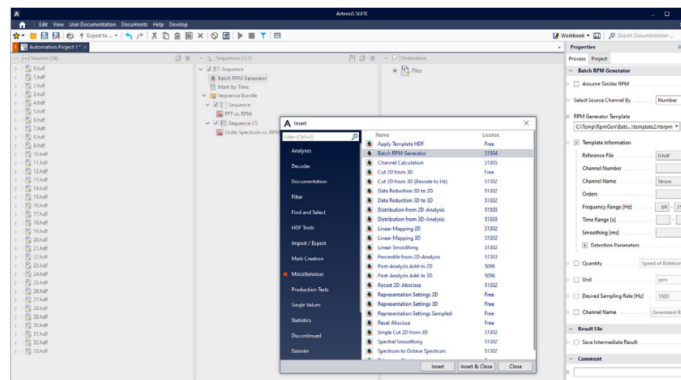
## RPM ジェネレーター (APR 080)

バッチ RPM ジェネレーターで利用するテンプレートの作成と保存の為に必要なのはAPR 080 ライセンスのみです。



## バッチ RPM ジェネレーター(ASP 304)

RPM ジェネレーターテンプレートをバッチ RPM ジェネレーターで利用するために必要なのはASP 304 ライセンスのみです。



## 自動化プロジェクトへの バッチ RPM ジェネレーター の埋め込み

RPM ジェネレーターテンプレートを自動化プロジェクトで利用するために必要なのはASP 304 と APR 050 のライセンスです。

要件： APR Framework (Code 5000)



## お問い合わせ

〒240-0005 神奈川県横浜市保土ヶ谷区神戸町 134  
横浜ビジネスパークウエストタワー 8F

電話： 045-340-2236  
Eメール： [headjapan@head-acoustics.com](mailto:headjapan@head-acoustics.com)  
ウェブサイト： [www.head-acoustics.com](http://www.head-acoustics.com)